

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和5年第45週の発生動向

□ トピックス

・**咽頭結膜熱**(定点把握対象の疾患)

第45週の県内定点当たり報告数が3.6となり、流行警報レベル開始基準値である「3」を超えた。咽頭結膜熱の定点当たりの報告数が「3」を超えるのは2006(平成18)年第33週以来となる。詳細後述。

・**インフルエンザ**(定点把握対象の疾患)

高千穂保健所管内のインフルエンザの定点当たり報告数が44.0と流行警報レベル開始基準値である「30」を超えた。宮崎県全体の定点当たりの報告数は13.9で先週比約1.1倍と増加しており、依然として流行注意報レベル基準値である「10」を超えているため、今後の動向に注意が必要である。詳細後述。

□ 全数報告の感染症 (45 週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2 例。

4 類感染症：つづが虫病 1 例、日本紅斑熱 1 例。5 類感染症：梅毒 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	女	結核性胸膜炎	呼吸困難
		高鍋	80歳代	女	肺結核	呼吸困難、胸部絞扼感
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	50歳代	女	—	なし、O血清群不明(VT1)
		都城	60歳代	女	—	なし、O血清群不明(VT2)
4類	つづが虫病	宮崎市	80歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
	日本紅斑熱	宮崎市	70歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常、脾腫
5類	梅毒	宮崎市	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性パラ疹

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1,597 人(定点当たり 36.2)で、前週比 109%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症及び咽頭結膜熱で、減少した主な疾患は特になかった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 129 人(2.2)で、前週比 128%と増加した。高千穂(16.5)、中央(6.5)、延岡(3.7)保健所の報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

【インフルエンザ】

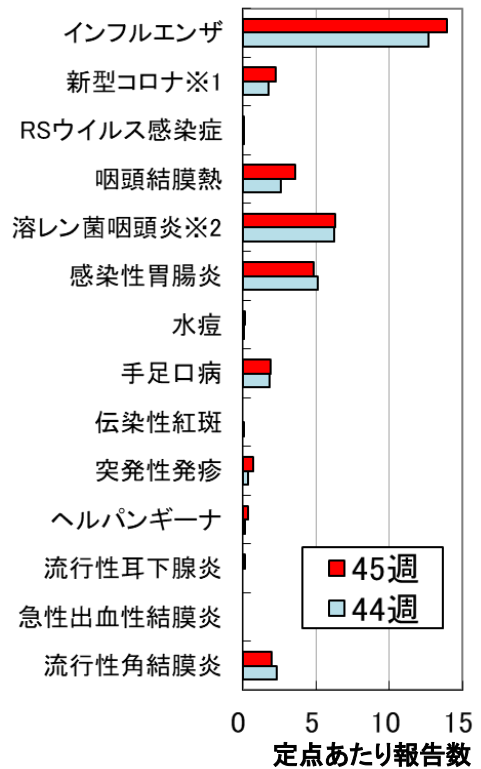
報告数は 808 人(13.9)で、前週比 110%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.35)の約 39.7 倍であった。高千穂(44.0)、延岡(19.0)、小林(17.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

【咽頭結膜熱】

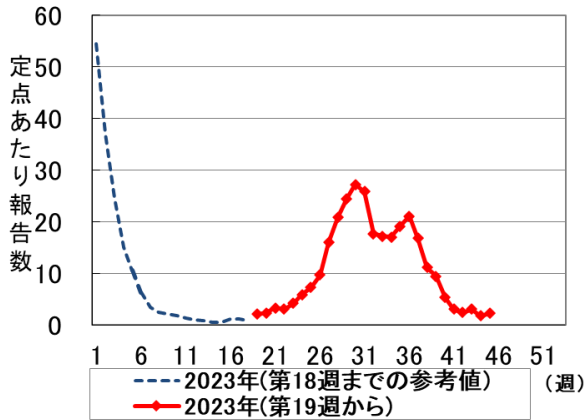
報告数は 130 人(3.6)で、前週比 140%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.49)の約 7.3 倍であった。宮崎市(8.0)、延岡(4.3)、中央(4.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 4 歳が全体の約 7 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

《前週との比較》

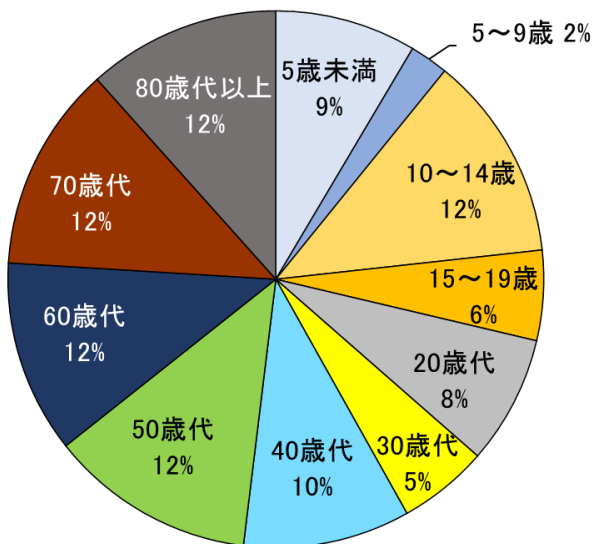


新型コロナウイルス感染症 発生状況

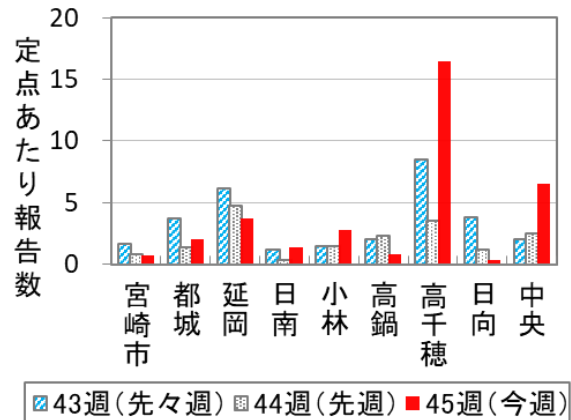


※新型コロナウイルス感染症の第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

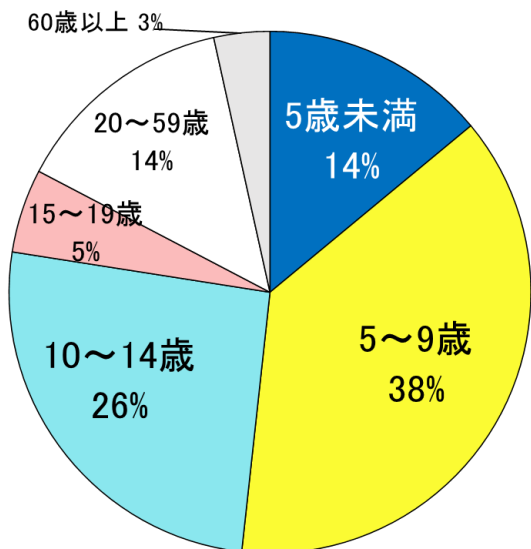
新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第45週)



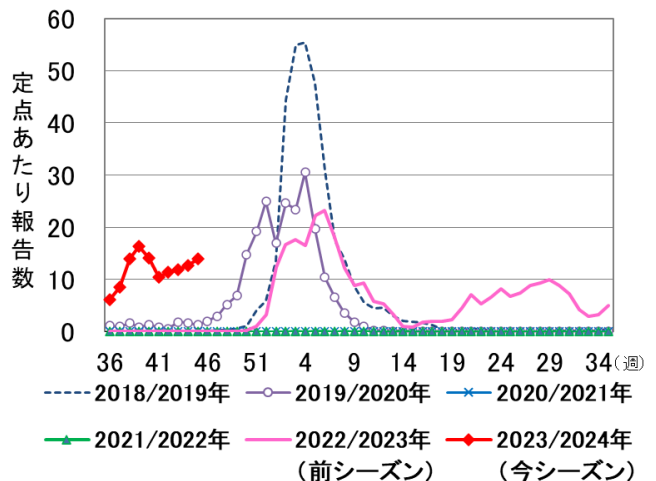
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



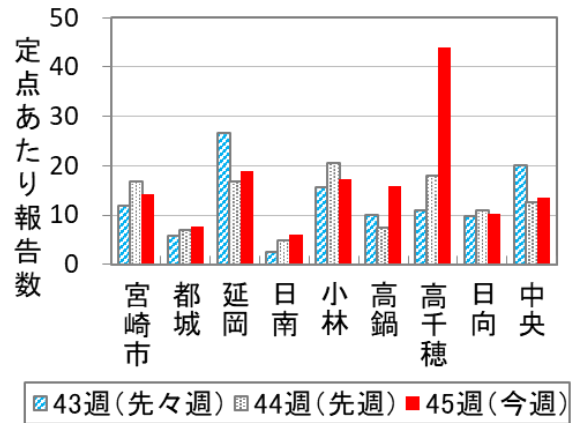
インフルエンザ年齢群別グラフ(第45週)



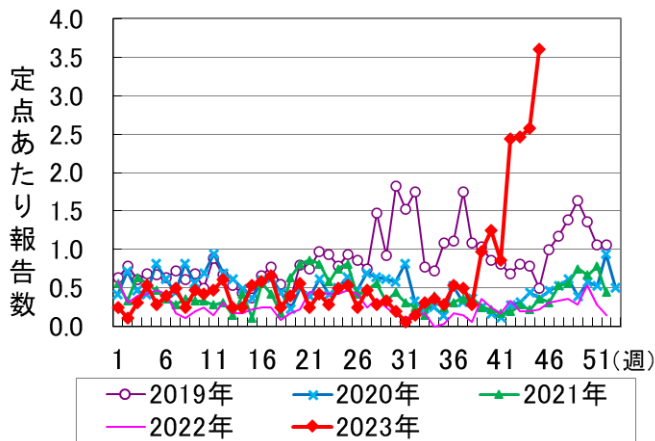
インフルエンザ 発生状況



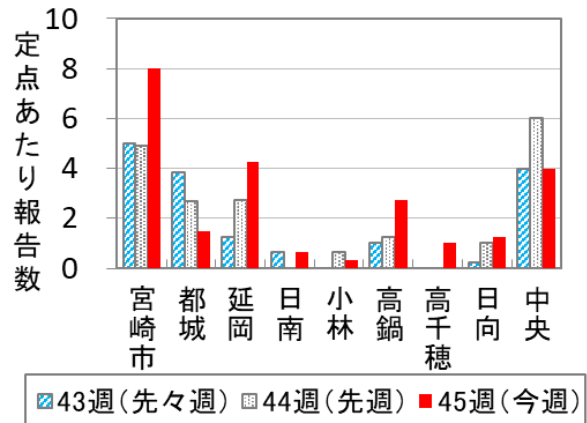
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



咽頭結膜熱 発生状況



咽頭結膜熱 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(14.3)、咽頭結膜熱(8.0)
都城	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(14.0)
延岡	インフルエンザ(19.0)、咽頭結膜熱(4.3)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.3)
日南	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(10.3)
小林	インフルエンザ(17.3)
高鍋	インフルエンザ(15.8)
高千穂	インフルエンザ(44.0)
日向	インフルエンザ(10.2)
中央	インフルエンザ(13.5)、咽頭結膜熱(4.0)

流行警報レベル開始基準値

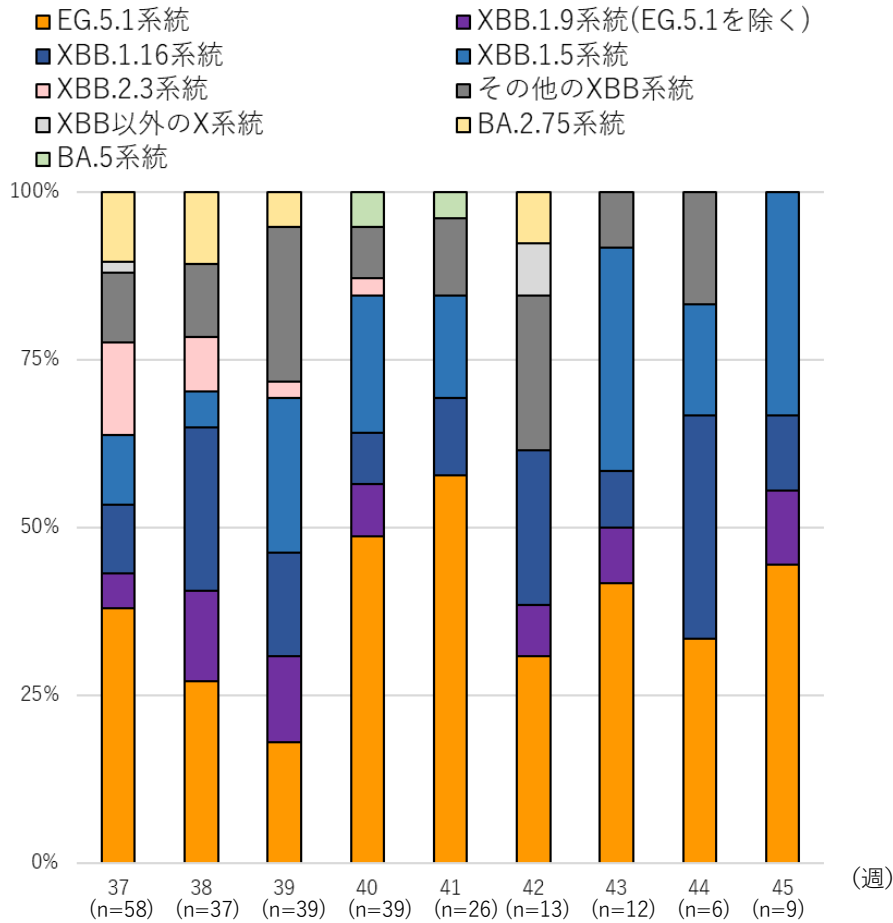
- ・インフルエンザ(30)
- ・咽頭結膜熱(3)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)

流行注意報レベル基準値

- ・インフルエンザ(10)

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統



XBB 系統は第 45 週で 100% を占め、EG. 5. 1 系統 (XBB. 1. 9. 2 の子孫株) が約 44% を占めた。

「X」で始まる名前は遺伝子組換えで発生した系統に付けられる。

XBB は BJ. 1 (BA. 2. 10. 1 系統) / BM. 1. 1. 1 (BA. 2. 75. 3 系統) の組換え株である。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多い場合は割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスの PCR 陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

✚ 全国 2023 年第 44 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	206 例			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	112 例	腸チフス	1 例	
4類感染症	E型肝炎	1 例	チクングニア熱	1 例	つつが虫病 9 例
	デング熱	7 例	日本紅斑熱	18 例	レジオネラ症 28 例
	レプトスピラ症	5 例			
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	35 例	急性脳炎 13 例
	クリプトスポリジウム症	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 10 例
	後天性免疫不全症候群	8 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例	侵襲性髄膜炎菌感染症 1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	28 例	水痘(入院例)	7 例	梅毒 166 例
	播種性クリプトコックス症	3 例	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 4 例
	百日咳	19 例			

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 102% とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患はRSウイルス感染症、伝染性紅斑及びヘルパンギーナであった。

インフルエンザの報告数は 104,359 人(21.1)で前週比 107% と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.25) の約 85.0 倍であった。山梨県(39.6)、埼玉県(34.8)、愛知県(34.6)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は 7,718 人(2.5)で前週比 101% とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値* (0.23) の約 10.8 倍であった。福岡県(6.5)、奈良県(5.6)、佐賀県(4.7)、沖縄県(4.7)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 5 歳が全体の約 8 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2023年10月>

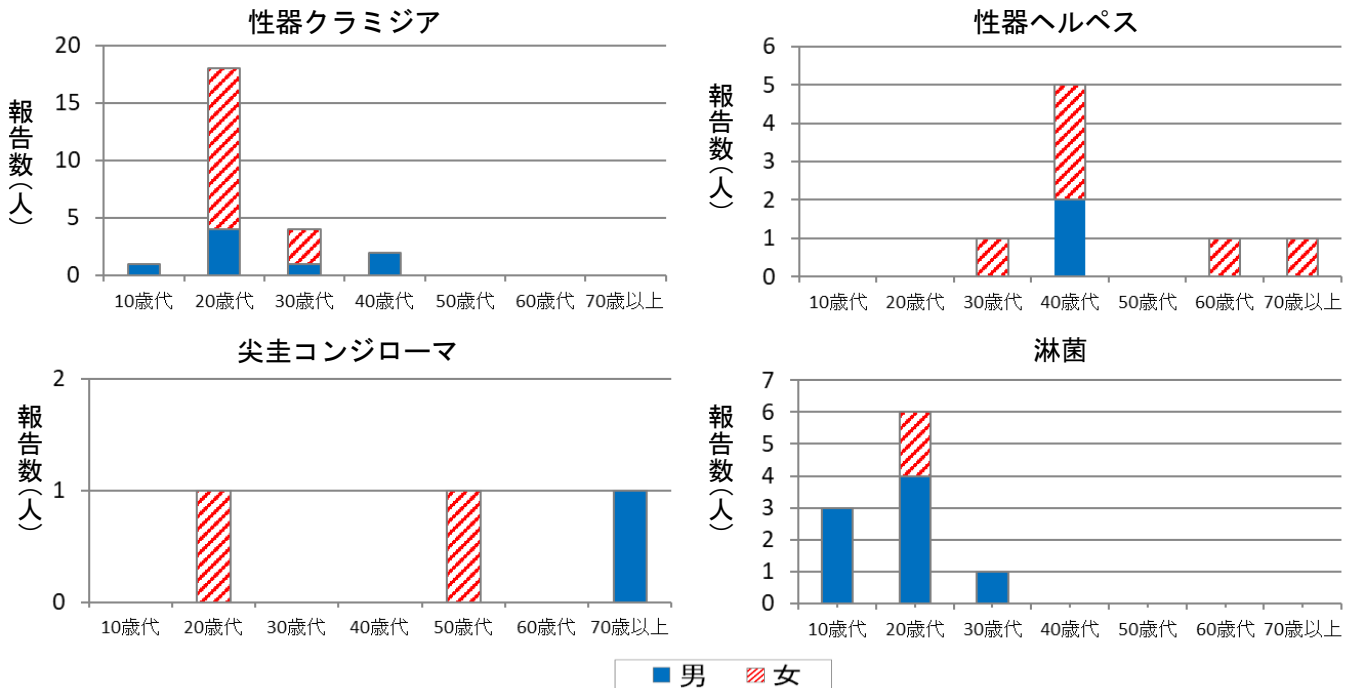
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は46人(3.5)で、前月比107%と増加した。また、昨年10月(2.7)の約1.3倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数25人(1.9)で、前月及び昨年10月の約1.1倍であった。
20歳代が全体の約7割を占めた。(男性8人・女性17人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数8人(0.62)で、前月の0.8倍、昨年10月の1.6倍であった。
(男性2人・女性6人)
- 尖圭コンジローマ：報告数3人(0.23)で、前月の1.5倍であった。
(昨年10月報告なし、男性1人・女性2人)
- 淋菌感染症：報告数10人(0.77)で、前月の約1.1倍、昨年10月の約1.4倍であった。
(男性8人・女性2人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,859人(5.0)で、前月比101%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,633人(2.7)で前月比97%、性器ヘルペスウイルス感染症852人(0.87)で前月比107%、尖圭コンジローマ559人(0.57)で前月比116%、淋菌感染症815人(0.83)で前月比100%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は12人(1.7)で、前月比57%と減少した。また、昨年10月(4.4)の約0.4倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数12人(1.7)で、前月の約0.6倍、昨年10月の約0.4倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,433人(3.0)で、前月比104%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,356人(2.8)で前月比105%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症71人(0.15)で前月比88%、薬剤耐性緑膿菌感染症6人(0.01)で前月比50%であった。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2023年 第45週(11月06日～11月12日)

疾病名		第44週	第45週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	735	808	228	77	133	30	69	95	88	61	27
	定点当り	12.67	13.93	14.25	7.70	19.00	6.00	17.25	15.83	44.00	10.17	13.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	101	129	12	20	26	7	11	5	33	2	13
	定点当り	1.74	2.22	0.75	2.00	3.71	1.40	2.75	0.83	16.50	0.33	6.50
RSウイルス感染症	報告数	1	2	1			1					
	定点当り	0.03	0.06	0.10	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	93	130	80	9	17	2	1	11	1	5	4
	定点当り	2.58	3.61	8.00	1.50	4.25	0.67	0.33	2.75	1.00	1.25	4.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	225	227	63	84	33	31		9		2	5
	定点当り	6.25	6.31	6.30	14.00	8.25	10.33	0.00	2.25	0.00	0.50	5.00
感染性胃腸炎	報告数	183	173	42	45	1	26	13	13	3	20	10
	定点当り	5.08	4.81	4.20	7.50	0.25	8.67	4.33	3.25	3.00	5.00	10.00
水痘	報告数	1	6	5		1						
	定点当り	0.03	0.17	0.50	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	65	68	26	16	3	11	2	5		2	3
	定点当り	1.81	1.89	2.60	2.67	0.75	3.67	0.67	1.25	0.00	0.50	3.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	12	25	9		2	4	3	4		3	
	定点当り	0.33	0.69	0.90	0.00	0.50	1.33	1.00	1.00	0.00	0.75	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	6	12	6		1	3			1		1
	定点当り	0.17	0.33	0.60	0.00	0.25	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00
流行性耳下腺炎	報告数		5		2	2						1
	定点当り	0.00	0.14	0.00	0.33	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	14	12	8	4							
	定点当り	2.33	2.00	2.67	2.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第1週～45週保健所受理分)

2類感染症	結核	98例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	17例(2)	腸チフス	1例
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群	12例	つつが虫病	11例(1)
	レジオネラ症	7例	レプトスピラ症	2例
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	7例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5例	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性肺炎球菌感染症	12例	水痘(入院例)	4例
	播種性クリプトコックス症	5例	破傷風	2例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	4例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
			梅毒	157例(1)
			百日咳	5例

()内は今週届出分、再掲